

みずほマーケット・トピック(2021年7月21日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

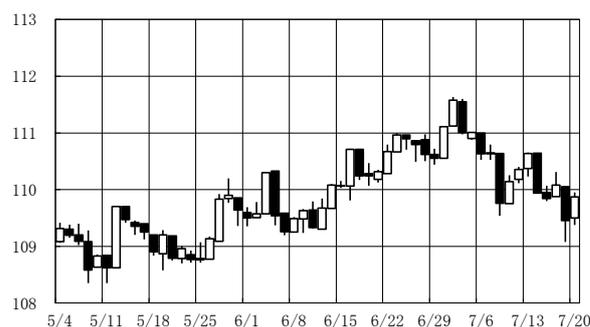
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、上値の重い展開となった。週初19日、109.90円付近でオープンしたドル/円は、110円手前での小動きとなったが、海外時間に入ると新型コロナウイルスの感染再拡大を懸念した世界経済の先行き不透明感からリスク回避の円買いが進んだほか、米長期金利の急低下に伴うドル売りの勢いも強まって、一時週安値の109.07円まで急落。その後も軟調地合いとなった。20日、ドル/円は新たな材料がない中で狭いレンジでの推移となったが、海外時間に入ると米株式市場が前日の下落から反発し、米長期金利が上昇に転じて、小動きながらもじり高となり、110円台近辺まで値を戻した。本日のドル/円は、109円台後半での取引となっている。
- 今週のユーロ/ドル相場は、軟調地合いとなった。週初19日、1.1810付近でオープンしたユーロ/ドルは、世界各地での新型コロナウイルスの感染再拡大懸念や原油価格の下落によるリスク回避の動きから、ドル買い圧力に下押しされて1.17台半ばまで値を下げた。その後、ユーロ/ドルは、米長期金利の低下を受けたドル売りが強まったことで上昇に転じ、一時週高値となる1.1824まで値を上げた。20日、ユーロ/ドルは、ユーロ/円が下落する動きに連れ安となり、一時週安値の1.1755まで下落。その後も米金利が徐々に上昇する動きにドル買いが進んで、上値の重い推移となった。本日のユーロ/ドルは、前日の流れを受けて1.17台後半での取引となっている。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		7/16(Fri)	7/19(Mon)	7/20(Tue)	7/21(Wed)	7/22(Thu)
ドル/円	東京9:00	109.78	109.88	109.53	-	-
	High	110.34	110.07	109.96	-	-
	Low	109.74	109.07	109.34	-	-
	NY 17:00	110.08	109.46	109.87	-	-
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1813	1.1812	1.1792	-	-
	High	1.1822	1.1824	1.1802	-	-
	Low	1.1792	1.1764	1.1755	-	-
	NY 17:00	1.1805	1.1800	1.1781	-	-
ユーロ/円	東京9:00	129.67	129.82	129.21	-	-
	High	130.26	129.89	129.48	-	-
	Low	129.67	128.90	128.61	-	-
	NY 17:00	129.92	129.16	129.45	-	-
日経平均株価		28,003.08	27,652.74	27,388.16	-	-
TOPIX		1,932.19	1,907.13	1,888.89	-	-
NYダウ工業株30種平均		34,687.85	33,962.04	34,511.99	-	-
NASDAQ		14,427.24	14,274.98	14,498.88	-	-
日本10年債		0.03%	0.01%	0.01%	-	-
米国10年債		1.30%	1.20%	1.22%	-	-
原油価格(WTI)		71.81	66.35	67.20	-	-
金(NY)		1,815.00	1,809.20	1,811.40	-	-

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、27日(水)～28日(木)に、FOMCが開催される。6月FOMCでは現行政策の維持を決定したが、声明文の経済・物価の現状認識とメンバーによる政策金利見通し(ドットチャート)は、はっきりと上方修正された。政策金利については「2023年末までゼロ金利継続」から「2023年中に利上げ着手」へと変更された。FOMC議事要旨では、量的緩和の段階的縮小(テーパリング)に関し、「過去の会合で予想されたよりも幾分早く、条件が満たされそうである」と数名のメンバーが言及するなど、総じてタカ派色が感じ取れる内容であったが、具体的な時期につき明言は避けられた。その後公表された米6月消費者物価指数(CPI)は約13年ぶりの大きな伸び幅を記録したが、FRBは上昇を一時的であるとする見解を変えておらず、FOMCメンバー間で依然テーパリングの開始時期を見極める状況が続いている。今回会合においても引き続きこの点が大きく注目が集めるとみられる。その一方で、米国内で新型コロナウイルスの新規感染者数は拡大傾向にある中、今週前半には市場心理の悪化が米国株式市場に波及する局面も見られており、声明文や議長会見などの情報発信にてリスク認識に修正が生じる可能性にも警戒したい。このほかの注目材料として、29日(木)に4～6月期GDP(速報)の発表を予定している。
- 本邦では30日(金)に6月失業率、有効求人倍率が公表される。失業率について、5月の結果は3.0%と0.2%ポイント上昇し、5か月ぶりの高水準を記録した。就業者数は2か月連続でプラスを記録しているものの、昨年4、5月は新型コロナウイルスの感染拡大によって国内で初めて緊急事態宣言が発令された時期であり、大きく雇用者数が落ち込んだ事情もあった。また、年初から活動制限措置が長期化している影響で飲食・宿泊業や娯楽部門で休業者数が増加基調となっている。こうした状況から積極的な採用活動も控えられており、5月有効求人倍率は1.09倍となっており、昨年7月以降、1.10倍を下回り続けている。雇用の改善に時間を要する展開は継続しそうであり、6月の結果に関し、ブルームバーグの事前予想では完全失業率を3.0%、有効求人倍率を1.10倍としている。

	本 邦	海 外
22日(木)	_____	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーロ圏 ECB 政策理事会 ・米6月中古住宅販売件数 ・米6月シカゴ連銀全米活動指数 ・米7月カンザスシティ連銀製造業活動指数
23日(金)	・東京オリンピック開幕	・米6月新築住宅販売件数
26日(月)	・7月製造業/サービス業PMI(速報)	_____
27日(火)	_____	・米6月耐久財受注(速報)
28日(水)	・5月景気動向指数(確報)	・米FOMC
29日(木)	_____	・米4～6月期GDP(速報)
30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月失業率/有効求人倍率 ・6月鉱工業生産(速報) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーロ圏4～6月期GDP(速報) ・ユーロ圏7月HICP(速報)

【当面の主要行事日程(2021年7月～)】

ECB政策理事会(7月22日、9月9日、10月28日)
 FOMC(7月27～28日、9月21～22日、11月2～3日)
 米ジャクソンホール経済シンポジウム(8月26～28日)
 日銀金融政策決定会合(9月21～22日、10月27～28日、12月16～17日)

市場営業部・金融市場部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2021年7月20日	変化の兆候を感じる円相場～需給・物価要因に変動～
2021年7月19日	気候変動オベを受けて～バランスに配慮した素案～
2021年7月16日	週末版(「ドル安見通し」の内幕を探る～「需給」でドル安の真実味～)
2021年7月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年6月分)
2021年7月14日	米インフレ率の騰勢とノイズ化するドットチャート
2021年7月13日	気候変動対策に動き出したECB～戦略修正を受けて～
2021年7月12日	猜疑心強まる民間部門～緊急事態宣言と貯蓄～
2021年7月9日	週末版(ECB、18年ぶりの戦略修正の中身～ハト派修正であることは確か～)
2021年7月8日	米金利低下でも買われない円。理由はどこに
2021年7月6日	想定される3つのシナリオ～BIS年次報告②～
2021年7月5日	Pandexitと格差拡大～BIS年次報告～
2021年7月2日	週末版(2021年上半年期の為替相場レビュー～下半期はワクチンから金融政策へ～)
2021年7月1日	世界の外貨準備動向～21年3月末時点～
2021年6月28日	22年Q1に完全回復を見込むECB。「次の一手」は?
2021年6月25日	週末版(ワクチン相場の賞味期限とリスク～「ワクチン接種先進国のつまずき」に怯える局面～)
2021年6月23日	やはり無理が出始めた北アイルランド国境管理
2021年6月22日	遂に日銀も踏み出した中銀のグリーン化～その②～
2021年6月21日	遂に日銀も踏み出した中銀のグリーン化～その①～
2021年6月18日	週末版
2021年6月17日	FOMCを終えて～前倒して進む正常化シナリオ～
2021年6月16日	新たな安全資産の誕生～ハミルトン・モーメントか否か～
2021年6月15日	イングランド行動制限延長も構図は変わらず
2021年6月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年5月分)
2021年6月11日	ビットコイン法定通貨化に関する考察
2021年6月9日	週末版(ECB政策理事会を終えて～PEPPのその先を考える～)
2021年6月8日	ワクチン追い風に盛り返すドイツと党～最後の前哨戦～
2021年6月8日	試され始めた「双循環」～元高容認に変調～
2021年6月4日	週末版(米5月雇用統計を前に～どうあれドル/円相場の行く先は変わらず～)
2021年6月3日	「蚊帳の外」感の強まる円相場～細る取引高～
2021年6月2日	着実に進むユーロ圏の日本化とユーロの堅調
2021年6月1日	米インフレ基調の現状と正常化プロセスへの考察
2021年5月28日	週末版(BOE早期利上げ観測の傍らで浮上する英国リスク～試されるワクチンの力～)
2021年5月26日	30年連続「世界最大の対外純資産国」の背後にドイツあり
2021年5月25日	「量」を意に介さないユーロ相場の騰勢
2021年5月24日	「コロナの終わり」で再認識する暗号資産の虚栄
2021年5月21日	週末版
2021年5月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年4月分)
2021年5月19日	FOMC議事要旨～テーバリングが必要なのは財政政策?～
2021年5月18日	ECBのテーバリングはあるのか?
2021年5月18日	鮮明になる円に対する低い関心
2021年5月17日	円相場の基礎的需給環境～Q1を終えて～
2021年5月14日	週末版
2021年5月13日	インフレ懸念で米金融政策は動きそうか?
2021年5月12日	連動が戻り始めた米株価と米消費者心理
2021年5月11日	スコットランド独立を巡るQ&A～現状と展望～
2021年5月10日	最近の為替市場に見る「正常化の胎動」
2021年5月7日	週末版(FRBの対話を阻害してしまうイェレン長官の存在～避けたい「院政」状態～)
2021年5月6日	明暗が鮮明になった「米国 vs. ユーロ圏 & 日本」
2021年4月30日	週末版
2021年4月27日	「成長痛」に直面しそうな新興国はどこにあるか?
2021年4月26日	年後半に警戒したい金融市場の「成長痛」
2021年4月23日	週末版(ECB政策理事会を終えて～6月、テーバリングと曲解されるリスクを警戒～)
2021年4月21日	ユーロ圏銀行貸出態度調査～与信環境の厳しさは継続～
2021年4月20日	調整色が強まってもワクチン相場の核心は変わらず
2021年4月19日	為替政策報告の読みから～イェレン長官の思惑は～
2021年4月16日	週末版(長きにわたる正常化プロセスの始まりか～まずはパウエルショックの回避が至上命題～)
2021年4月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年3月分)
2021年4月14日	多様化が進む世界の外貨準備～ドル離れが顕著に～
2021年4月13日	ユーロ相場の展望～盤石の需給が支えに～
2021年4月12日	近年の「年間値幅」をこなしたドル/円相場の今後
2021年4月9日	週末版(GFSRも懸念する世界経済の「成長痛」～中長期的に広がる「金利の無い世界」のフロンティア～)
2021年4月7日	IMF世界経済見通しを示す新興国の憂鬱
2021年4月6日	暗雲垂れ込めるアフターメルケルのドイツ政治
2021年4月5日	米3月雇用統計の読み方～長期失業者割合は上昇～
2021年4月2日	週末版(欧州で台頭するワクチン・ナショナリズム～EU 離脱を象徴するワクチン戦争～)
2021年4月1日	ラガルドECB総裁、「挑発」の真意はどこに?
2021年3月29日	リスクシナリオの点検～上下のリスクを検討する～
2021年3月26日	週末版(現状を理解するための3つのテーマ「金利」「コロナ抑制状況」「原油」～「需給」は小休止～)
2021年3月25日	ドイツ州議会選挙に見る「移民から環境へ」のシフト
2021年3月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年2月分)
2021年3月19日	週末版(「実質金利ゼロ」が次の節目?～ハイライトは4～6月期か?～)
2021年3月18日	FOMCレビュー～現状維持に見る強気の足音～
2021年3月16日	FOMCレビュー～ドットチャート&議長会見～
2021年3月15日	期待の米国、不安の日本～コロナ対応の明暗～
2021年3月12日	週末版(ECB政策理事会を終えて～significantly higher paceの解釈～)
2021年3月11日	ECB政策理事会プレビュー～PEPPの加速を示唆へ～
2021年3月9日	年初来の為替市場から見える「今年のテーマ」
2021年3月8日	好調な米2月雇用統計にも見逃せない危うさ
2021年3月5日	週末版
2021年3月4日	英ポンド急騰の背景～経済対策、ワクチン、成長率～
2021年3月3日	米金利に連れたユーロ圏金利～ECBは容認できず～
2021年3月2日	「鏡に映った自分」に惑うFRB～前提が変わった2か月間～
2021年2月26日	週末版(米10年金利の1.60%台到達を受けて～パウエルショック～)
2021年2月25日	マネーサプライを見てインフレ語れず～パウエル公聴会～
2021年2月22日	「民間部門の貯蓄過剰」は今後の「マグマ」なのか?
2021年2月19日	週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて～明記された「ユーロ高反転」～)
2021年2月18日	動き始めた米実質金利への懸念～10年1.3%到達を受けて～
2021年2月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年1月分)
2021年2月16日	アフターコロナを予感させる米国のインフレ論争